

2023年9月6日

株式会社プレイシンク

株式会社ロイヤリティ マーケティング

Ava Labs, Inc

プレイシンクとロイヤリティ マーケティング

新規ブロックチェーンプロジェクトでAva LabsのAvalancheサブネットを採用

ブロックチェーン技術を活用したサービスの社会実装を進める株式会社プレイシンク（本社：東京都新宿区、代表取締役：尾下 順治、以下「プレイシンク」）と共通ポイントサービス「Ponta（ポインタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、両社が共同で立ち上げる新規ブロックチェーンについて、Ava Labs, Inc（本社：アメリカ ニューヨーク州、CEO Emin Gün Sirer、以下「Ava Labs」）の提供するAvalancheサブネットを採用することを発表します。

PLAYTH!NK

 Loyalty
Marketing, Inc. AVALANCHE

プレイシンクとLMが現在取り組んでいるプロジェクトでは、2023年内を目途にLMの持つ約1億の利用者アカウントがWeb3サービスに対応可能となります。これまでに事例のない規模のWeb3プラットフォームとなり、マーケティングの他、大規模コンテンツ上でのNFTの大量発行と配布などを予定しておりますが、これらをパブリックチェーンで実施しようとした場合、高額のガス代（※）や、トランザクションスピードの低下という問題がありました。

これらの問題を解決するために、プレイシンクとLMは、新規でコンソーシアムチェーンを構築し、Avalancheの高速なアーキテクチャを活用することを決定しました。本チェーンは、プレイシンクとLMがバリデーターとして運用します。

■Avalancheサブネット採用の理由

Avalancheサブネットの採用理由は主に二つあります。一つ目は、その世界最速クラスのファイナリティアルゴリズムです。二つ目は、EVM(Ethereum Virtual Machine)互換のスマートコントラクトプラットフォームであり、Avalancheメインネットでは数多くのアプリケーションが稼働中であることです。独自ブロックチェーンにAvalancheサブネットを採用することで、高速かつ多機能なサービス提供が可能となります。

■本ブロックチェーンの特徴

本プロジェクトのブロックチェーンには、以下の特徴があります。

- ・利用者は暗号資産を準備する必要がなく、決済にはPontaポイントや法定通貨が利用可能です。
- ・高いEVM互換性を持っているため、他のEVM互換チェーンで既に提供されているものも含め、サードパーティーによるアプリケーション提供が可能です。
- ・プレイシンクとLMがバリデーターノードを運用するコンソーシアムチェーン形式を採用しています。
- ・Ava LabsのクラウドサービスAvaCloudを活用し、堅牢なインフラストラクチャーを提供します。

プレイシンクとLM、そしてAva Labsは、このプロジェクトを通じてブロックチェーン技術の可能性をさらに引き出し、新たな価値を生み出すことに尽力してまいります。

※ガス代とは、ブロックチェーン上で取引などを行った際に発生する手数料です

会社名 : 株式会社プレイシンク
所在地 : 東京都新宿区新宿2-5-12 FORECAST新宿AVENUE 6F
代表者 : 尾下 順治
設立 : 2021年9月
事業内容 : Web3事業

会社名 : 株式会社ロイヤリティ マーケティング
所在地 : 東京都渋谷区恵比寿1-18-14恵比寿ファーストスクエア7階
代表者 : 長谷川 剛
設立 : 2008年12月
事業内容 : ポイント事業、マーケティング事業

会社名 : Ava Labs, Inc
所在地 : 1177 Avenue of the Americas, 5th Floor, Suite 50922, New York, NY 10036, USA
代表者 : エミン・グン・シラー
設立 : 2018年
事業内容 : 金融ソフトウェア事業